

- (1) 会議名
平成28年度第1回北杜市環境保全基金活用検討委員会
- (2) 開催日時
平成28年4月26日(火)午後1時30分～午後3時30分
- (3) 開催場所
北杜市役所本庁舎西会議室
- (4) 出席者
委員
協力企業代表者 大島博行
市民代表者 船木良
環境保全団体代表者 篠原充
環境保全団体代表者 跡部治賢
環境保全団体代表者 枝木秀行(代理)
環境保全団体代表者 増田直広
北杜市副市長 大芝正和
北杜市企画部長 菊原忍
(欠席:市民代表者 清水謙雄)
事務局
政策秘書課長 丸茂和彦
政策調整担当リーダー 水石正幸
政策調整担当 坂本誠
- (5) 議題
・平成27年度基金活用事業の実績報告について
①環境保全協力金の実績について
②提案型公募事業・市事業の実施状況について
・平成28年度提案型公募事業について
・その他
- (6) 公開・非公開の別 公開
- (7) 傍聴人の数 2名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議事

(事務局) 北杜市環境保全基金活用検討委員会設置要綱第6条の規定により、

委員長が議長となることを説明する。

(議長) 傍聴希望者2名のため、公開について諮る。

(委員) 異議なし。

(議長) 会議録署名の委員を、跡部委員と菊原委員を指名。

(議長) 議事「平成27年度基金活用事業の実績報告について」を事務局からの説明を求める。

(事務局) 「①環境保全協力金の実績について」を、資料「環境保全基金推移」、「平成27年度環境保全協力金台帳」を基に説明する。

(議長) 質疑を求める。

(全員) 質疑なし

(事務局) 「②提案型公募事業・市事業の実施状況について」を、資料「平成27年度環境保全基金活用事業(市民提案事業)」「平成27年度環境保全基金活用事業(市実施事業)」を基に説明する。

(議長) 質疑を求める。

(全員) 質疑なし

(議長) 議事「平成28年度提案型公募事業について」を事務局に説明を求める。

(事務局) 今年度は14事業が提案されている。1から6番目の事業までが昨年度も実施した継続事業で、7から11番目の事業が新規事業である。また、12から14番目までは継続事業であるが検討委員が関係する事業なので、採決の際は退席いただくことになる。

1番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 昨年も実施した砂防校外授業の参加人数は。

(事務局) 児童、保護者、先生、合わせて50から60人である。

(委員) 昨年の実績額と比較すると、事業費が増えているが、事業内容に変更があるのか。

(委員) 事業内容に大きな変更は無い。計画段階の事業費より安く実施できることがある。

(議長) この活動について審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(事務局) 2番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 毎年備品を購入しているが、備品台帳は整備されているか。

(事務局) 事務局に提出されている。

(委員) 前回の検討委員会でも話題になったが、活動報告はしっかりされているのか。

(事務局) 2月に大泉総合会館で、市民に向けた発表会を開催している。今年

度も同じような調査報告会を開催すると報告を受けている。

(事務局) 以前、説明したとおり5月に、この団体だけではなく、環境保全基金を使った団体は、寄付金者、市民に対して事業報告会を開催する計画である。寄付金がどのように使われたか幅広く周知して行くことは重要である。

(委員) 報告書を子供向けに図書館や学校に配布しているのか。

(委員) 図書館や学校は不明だが、私の団体には送られてきている。調査を継続しているので貴重な資料があり、とてもありがたく思っている。

(委員) 寄付をしている方が見れば、事業を実施するだけでは寂しいと思うのではないか。せっかく事業をしたならば、子どもをはじめ、多くの人の目に触れた方が良い。

(議長) 特に子供向けに、図書館や学校に報告書を配布することを条件とし、審議を求める。

(全員) 異議なしで条件付き承認

(事務局) 3番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(議長) この活動について審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(事務局) 4番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 昨年と比較して事業費が縮小しているが理由は。

(事務局) 昨年は、桜の木の伐採に高所作業車を使用していた。今年は高所作業車を使用しないので、その費用分安くなっている。

(委員) 桜の苗木、ホタル幼虫、カワニナなどの地元の業者から購入する配慮はしているか。

(事務局) 地元の業者から購入すると聞いている。

(委員) 事業を実施する場所が分かる資料はあるか。

(事務局) 資料は添付されていないが、場所は武川町地内と聞いている。

(議長) この活動について審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(事務局) 5番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 参加人数は。

(事務局) 昨年実績の一例では、森林インストラクターを招いた環境教育事業は、大人16人、子供20人が参加している。この他にも複数回事業を実施しているが、概ね30人程度の参加となっている。

(委員) 保険料が高いのでは。

(委員) 保険内容を調査し、事業内容にあった保険に加入する必要がある。

(議長) 事業にあった保険に加入することを条件とし、審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(事務局) 6番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(議長) この活動について審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(事務局) 7番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 予算書では、一部に収入見込みとあるが、見込みの収入がなければ事業を実施しないということでは困る。また、このコースは、別のウォーキング事業で草刈をしている。同じところを重複して草刈をするのか。

(事務局) 草刈もするが、原生ビオトープ巡りができるように植栽することがメインになっている。

(議長) 収入見込みの収入がなくても事業実施することを条件とし、審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(事務局) 8番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 津金地区だけの気象データをモデル的に配布するということか。

(事務局) そうである。昨年と今年の気象データを比較し、気象条件により対策を考えていく。そのデータはネットや地域の情報誌で配信する。

(委員) 今回の申請で必要な機材を購入することだと思うが、その後の維持管理費用が必要となる。

(委員) 観測データは、本当に農家が必要としているデータなのか疑問である。

(委員) 申請団体の関係者から機材を購入することになっているが、あまり好ましくないのでは。

(委員) この補助事業の目的は環境保全である。これは農業振興ではないか。

(議長) これまでの意見を整理すると、この申請内容は農業振興事業と考えられることから、却下と判断し、審議を求める。

(全員) 異議なしで却下

(事務局) 9番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 昨年も申請があり不採択になったが、報償費が高すぎるのではないか。

(委員) 地域共同型であるが、地元住民や学校との関わりが見えてこない。参加者募集型の事業ではないか。

(委員) 事業実施場所が不明である。

(議長) これまでの経過を整理すると、地域共同型の事業ではないこと、報償費が高額すぎることから却下と判断し、審議を求める。

(全員) 異議なしで却下

(事務局) 10番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環

境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 自然をテーマにした写真のコンテストがメインということか。

(委員) 写真を通して環境保全につながるようなPR活動であると思う。

(議長) この活動について審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(議長) 次の11番目の事業と12番目の事業だが、申請団体関係者が委員となっているため、両事業の質疑を受け、採決の際には退席していただく。

(事務局) 11番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 園庭が完成したら一般の方は見学等できるのか。

(関係委員) 定期的に公開しているので見学することは可能。また、園児と保護者だけの保育園ではなく、地域住民と関わりを持った保育園にしたい。

(関係委員) 調査研究は申請団体のみが実施することになっているが、一般の方が参加できる機会はないのか。

(委員) 調査研究は申請団体のみで行い、その後、参加者募集型や市民共同型で調査結果の発信や啓発活動をする計画である。

(議長) 続いて次の12番目の事業の説明をしてください。

(事務局) 12番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 「伝える」事業として参加者を募集して事業実施するが、参加料は掛かるのか。

(関係委員) 無料で実施する。

(委員) ヤマネの生態調査は、講師が10回来る計画であるが、10回で足りるのか。

(関係委員) 実際は10回以上来ているが、補助対象としては10回としている。

(委員) ソフト事業で多くの市民が参加する。この事業は環境保全基金を活用していることを周知できる良い機会である。寄付を頂いた方のためにも、参加者に基金を活用していることが分かるような努力をして欲しい。

(関係委員) 了承

(議長) 関係委員退席後採決に入る。11番目の事業について審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(議長) 次に12番目の事業について審議を求める。

(全員) 異議なしで承認

(議長) 次の13番目の事業だが、申請団体関係者が委員となっているため、採決の際には退席していただく。

(事務局) 13番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員) 参加人数は。

(事務局)今年は100人程度を想定している。昨年は90人程度が参加している。

(委員)参加人数に対して経費が少ないように思える。素晴らしい事業なので、必要な経費は増やしても良いと思うが。

(事務局)事務局で調査する。必要な経費は計上するように伝える。

(議長)関係委員退席後採決に入る。13番目の事業について審議を求める。

(全員)異議なしで承認

(議長)次の14番目の事業だが、私が申請団体関係者の関係者になるので、質疑を受け、採決の際には退席する。本件の進行を副委員長に委ねる。

(事務局)14番目の事業について、「北杜市環境保全事業提案書」「北杜市環境保全事業概要書」を基に説明する。

(委員)靴底ブラシを設置するのはどのような内容なのか。

(関係委員)ゴルフ場あるような、靴底をきれいにするブラシを置く。靴底の土を落とすことにより、付着していた外来種の種子を持ち込まないようにする。昨年も実施した。その土を保管してあるので、発芽させてどのような植物か調査する予定だ。

(議長代理)議長退席後採決に入る。14番目の事業について審議を求める。

(全員)異議なしで承認

(議長)議事「その他 基金活用事業報告会」の説明を求める。

(事務局)資料「基金活用事業報告会について」を基に説明する。

(委員)今回採択された団体は、来年の事業報告会で発表してもらうように。

(議長)他に質疑を求める。

(全員)質疑なし。

7. 閉会

午後3時30分